

<林業分野>

1. 第3期計画の上半期の進捗状況等について

林業分野では、原木生産量及び木材・木製品製造品出荷額等の増加に向けて、次の5つの戦略の柱に基づき取り組みを進めている。

平成28年度上半期の取り組みは、概ね計画どおり進んでいる。

1) 原木生産のさらなる拡大

- 「森の工場」については、44の認定事業体から今後の事業計画や進捗状況、現場での課題などを個別にヒアリングし、新たな森の工場の拡大に向けて取り組むこととしている。
- 原木の安定供給システムの構築に向けて、森林組合連合会や森林管理局などの関係機関による木材増産推進プロジェクトチームを設置し、それぞれの関係機関における原木増産に向けた取り組みや課題等の共有を行い、官民連携の強化を進めている。
- 森林組合における生産性の向上を支援するため、各林業事務所に森林組合支援チームを設置し、事務所ごとに1森林組合について功程調査等を実施して問題点を洗い出し、経営改善に向けて必要となる支援を行うこととしている。
- 皆伐後の再生林に必要な苗木を確保するため、コンテナ苗生産の推進に向けた技術支援や新規に参入する生産者への支援に取り組んでいる。

2) 加工体制の強化

- 高知おおとよ製材が、10月からのフル稼働(原木消費量10万m³/年)に向けて、引き続きサポートを実施している。
- 県内の主な製材事業者に対して実態調査を実施しており、加工力の強化に向けた今後の方針について年度末までに作成する。併せて、協業化・大型化に取り組む事業者の掘り起しも行っている。
- 大断面集成材工場の整備に着手しており、年末までに完成予定。年度内のJASの取得、来年度からの生産開始に向けたサポート等を行っている。
- CLTパネル工場の立地に向けて、候補企業との意見交換を実施している。また、課題であるCLTの需要拡大とラミナの供給体制の構築に向けて取り組んでいる。

3) 流通・販売体制の確立

- 流通の合理化を図るため、県外21箇所に設置している流通拠点の活用やトレーラを利用した関東、近畿、東海方面への定期輸送に取り組んでいる。
- 流通・販売体制の抜本強化を図るため、土佐材流通促進協議会メンバーなどの県内事業者や製品市場関係者との協議を行っている。

4) 木材需要の拡大

- 低層非住宅の木造化を推進するための製品開発について、検討会において新製品の絞り込みを行い、製品化に向けた実験に取り組むとともに、木造非住宅建築物に関する事例集を作成するための情報収集を行っている。
- CLTについて、完成した建築物の見学会や「CLTで地方創生を実現する首長連合」を通

じた国等への政策提言を行うなど、CLT建築物の普及拡大に取り組んでいる。

5) 担い手の育成・確保

- 林業学校の基礎課程においては、4月に20名が入校し、8月には林業事業者へのインターンシップを実施した。平成30年4月の本格開校に向けて、校舎等の施設整備や専攻課程の開講準備に取り組んでいる。
- 林業労働力確保支援センターと連携し、高校生を対象にした林業職場体験教室や林業機械講習を実施した。

2. 取り組みの強化の方向性について

1) 林業事業者と協働で取り組む原木の生産性の向上

原木の搬出コストを削減するため、新たな事業地における作業路網や中間土場の配置計画づくりなどを支援することにより、効果的な原木生産体制の構築を図る。

2) 本県で開発された木質建材を活用したモデル建築物の普及・拡大

本県において開発された木質資材を活用したモデル建築物を支援することにより、新製品の認知度の向上を図るとともに、建築物のトータルコストの把握等を通じて、新製品の普及を図る。

3) 林業労働力確保支援センターの窓口機能の強化と林業就業希望者に対する受け皿の充実

新たな担い手の確保につなげていくため、都市部での定期的な相談会や高知の林業を詳しく知ることができるフォレストスクールをスタートさせる。また、就業希望者が林業体験や視察ができるよう受け入れ体制の充実を図る。

3. 専門部会での評価と主な意見

- 平成28年度上半期の取り組みは、ほぼ計画どおり進んでいると評価。
- 取り組みの強化の方向性についての異議はなかった。

< 主な意見 >

- 原木の増産に向けて、森林整備に関する予算の確保をお願いしたい。
- 産業振興計画による成果が森林所有者にどう反映されたのか見えにくい。
- 愛媛県や徳島県も本県と同様に、大型製材工場等を整備して原木増産に取り組む中、原木の流通が変化してくるので、他県の状況も踏まえた施策展開が必要。
- 新たに整備した大型製材工場や集成材工場だけでなく、既存の製材工場にも十分目を向けてほしい。
- CLTの成果は見えてきていると実感している。民間施設の木造化・木質化を進めるにあたって、県や市町村の補助制度の改善点等について受注者の意見を聞いてほしい。
- ツーバイフォー部材を国産材で供給するなど、外材を国産材に替えることで木材需要は大きく伸びるのではないか。